

事務事業評価表

○基礎情報

| 課名 | | 景観みどり課 | 作成責任者 |
|------|----|--------------------------------|-------|
| 施策目標 | 44 | 美しい景観を形成し、命をはぐくむみどりを保全・再生・創出する | 田代 久弥 |

| 常勤職員 | | 常勤職員以外 | | | 総従事者 |
|------|------|--------|----------|------|---------|
| 管理職 | 左記以外 | 再任用短時間 | 会計年度任用職員 | 派遣職員 | 総人工 |
| 1 人 | 9 人 | 1 人 | 0 人 | 0 人 | 11.26 人 |

| 時間外勤務時間 | |
|---------|----------|
| 総時間 | 一人あたり月平均 |
| 312 時間 | 2.9 時間 |

1 施策指標と実績(Do)

| 施策指標名 | 4次実施計画の 現状値 | 目標値 (R2年度) | 実績値 | | |
|------------------------|----------------|---------------|--------|--------|--------|
| | | | H30年度 | R元年度 | R2年度 |
| 市域面積における緑地面積率 | 18.21% | 22.00% | 18.28% | 18.34% | 18.43% |
| 景観資源の指定件数 | 34件 | 37件 | 33件 | 33件 | 33件 |
| みどりの保全活動につながる講座等への参加人数 | 29人 | 60人 | 107人 | 105人 | 0人 |

(施策のねらい)

| | |
|---|----------------|
| 1 | 地域特性を生かした景観の形成 |
| 2 | みどりの保全・再生・創出 |
| 3 | 0 |
| 4 | 0 |
| 5 | 0 |
| 6 | 0 |

(評価の見方) **S** 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった

C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める

2 未着手事業(計画していたが未実施に終わった)

A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった **B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める**

D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない **E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない**

実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実施予定のないものを含む)

2 政策的事業の実績(令和2年度)

| 事務事業の取組結果と成果(効果) (Plan / Do) | | | | | | | | | | | Check | | Action | |
|------------------------------|-------------------|----|------|------|------------------------|--------------------------|---|---------------|-----------|------------|-------|------|--------|------|
| No. | 事務事業 (第4次実施計画) | 施策 | 従事者数 | 会計区分 | R元予算(円) R元決算(円) | R2予算(円) R2決算(円) | 何・誰に対して どう働きかけた結果 (対象) (手段・方法) (れた成果・効果) | 事務事業の指標 | R2目標値 | R2実績値 | 評価 | 取組時間 | 事務改善 | 休・廃止 |
| 1 | 景観計画推進事業 | 1 | 0.99 | 一般 | 4,040,000 3,728,974 | 380,000 294,385 | 計画に位置付けられた事業の実施や、定点観測、観察日誌等の評価調査を実施し、進行管理を行うことができた。 | 景観計画の改定及び進行管理 | 進行管理 | 進行管理 | S | 変動なし | | |
| 2 | 景観資源の指定と維持保全 | 1 | 0.44 | 一般 | 0 0 | 0 0 | 眺望、樹木、建造物など本市の景観形成上重要な資源を、定期的に観測することにより、維持保全することができた。また、景観資源の新規指定のため、景観まちづくり審議会へ諮問を行った。 | 指定件数(累計) | 37か所 | 33か所 | S | 変動なし | | |
| 3 | 公共サインガイドライン推進事業 | 1 | 0.77 | 一般 | 7,860,000 7,850,870 | 12,012,000 10,813,000 | 茅ヶ崎市公共サインガイドラインに基づき、ユニバーサルデザインに配慮した公共サインを茅ヶ崎駅南口へ設置した。 | 公共サインの整備エリア | 南口広場サイン整備 | 南口広場サイン整備 | S | 変動なし | | |
| 4 | 鉄砲道の沿道景観形成事業 | 1 | 0.03 | 一般 | 0 0 | 0 0 | 街路樹リニューアル整備を行った区間について、沿道の店舗等と協働し、沿道景観形成の維持管理を行った。 | リニューアル区間 | - | 令和2年度は計画なし | 実績なし | 変動なし | | |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|----|--------------------|---|------|---------|--------------------------|--------------------------|---|----------------------|-------|--------|---|------|--|--|
| 5 | 違反屋外広告物除却事業 | 1 | 0.28 | 一般 | 669,000 667,486 | 599,000 598,532 | シルバー人材センターに委託することにより、違反屋外広告物を除去し、都市の良好な景観を維持するとともに、歩行者等公衆に対する危害を防止することができた。 | 違反屋外広告物の除却件数(年間受理件数) | 50件 | 41件 | S | 変動なし | | |
| 6 | 民有地緑化推進事業 | 2 | 0.46 | 一般 | 266,000 50,000 | 238,000 100,000 | 住宅の庭先に植樹した市民に補助金を支給することにより、市街地にみどりを増やすことができた。 | 制度の利用件数 | 7件 | 2件 | C | 変動なし | | |
| 7 | みどりの保全等に関する条例の運用事務 | 2 | 0.52 | 一般 | 34,745,000 30,684,803 | 23,056,000 22,623,102 | 保存樹林、保存樹木等のみどりの保全等に関する条例に位置付けられた制度を活用し、市内に残された貴重な自然環境を保全することができた。 | 制度の指定件数 | 60箇所 | 50箇所 | S | 変動なし | | |
| 8 | 自然環境評価調査業務 | 2 | 0.74 | 一般 | 60,000 60,000 | 40,000 0 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、講座を中止せざるを得ない状況であったため、未着手となった。 | 調査や保全活動に関する研修等への参加者数 | 60人 | 0人 | Z | 減少 | | |
| 9 | 茅ヶ崎市緑のまちづくり基金の充実 | 2 | 0.44 | 一般 | 992,000 991,698 | 1,137,000 1,136,937 | 良好な自然環境を形成している緑地の取得や維持管理を進めるための基金の充実を図るため、ふるさと納税などによる寄付を募った。 | 緑のまちづくり基金の積立額 | 370千円 | 1137千円 | S | 変動なし | | |
| 10 | 特別緑地保全地区指定の推進 | 2 | 0.74 | 一般 | 24,687,000 22,097,608 | 2,299,000 2,264,680 | 次年度の特別緑地保全地区内の土地の買入れのため、測量と不動産鑑定を行った。同地内の倒木処理などの森林整備を行うことで、自然環境を保全することができた。 | 特別緑地保全地区指定累計箇所数 | 2箇所 | 2箇所 | S | 変動なし | | |
| 合計 | | | | R2予算(円) | | 39,761,000 | | | | | | | | |
| | | | | R2決算(円) | | 37,830,636 | | | | | | | | |

3 実施計画事業(政策的事業(政策的事業のない課かい是一般管理事務等))の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check) / 今後の展望(Action)

景観みどり課の令和2年度の政策的事業の事業数は10事業である。政策的事業の評価結果は、「S」7事業、「C」1事業、「Z」1事業、「実績なし」1事業となっている。指標の達成状況に着目すると、80%以上達成できなかったものは1事業(No.6)あり、No.8の事業も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったが、概ね順調に事業が実施できたと考えている。

No.2「景観資源の指定と維持保全」については、No.4「鉄砲道の沿道景観形成事業」により整備を行った区間を景観資源である景観重要公共施設に指定するため、景観まちづくり審議会へ諮問し、答申を受けた。今後は都市計画審議会へ意見徴収し、指定を行う。No.3「公共サインガイドライン推進事業」については、茅ヶ崎市公共サインガイドラインに基づき、まちの魅力を伝える、まちあるきマップを茅ヶ崎駅南口に2基設置した。今後は過ごし方調査により整備した空間の評価を行う。

No.6「民有地緑化推進事業」については、「みどりのまちなみ推進補助金」を創設して2年目であり、問い合わせが5件あり、実績の伸びを期待したもの、実績は2件であった。民有地緑化については、個人への補助よりも、開発行為に伴う指導を維持していく方が有効性が確保できると考えられる。No.7「みどりの保全等に関する条例の運用事務」については、保存樹林制度により市街地の緑地が保全されている。対象の樹林は、買取りを前提としているものではなく、将来にわたって永続的な緑地の保全が担保できるものではないが、所有者に対しては補助金の支給や、保全管理に関する助言などを行うことによって、所有者が樹林を保全する負担を軽減することができ、市街地の緑地の保全のためには、有効な施策と考えている。

職員の本総時間外は312時間、一人当たり月平均2.9時間となり、前年度と比較して総時間は197時間減少、一人当たり月平均は1.8時間減少することができた。月初に、各担当でスケジュール表を作成し、その月行う大まかな仕事と、目標とする状況を確認し、問題があれば調整するなど、業務量の平準化に努めた成果であると考えられる。

公共空間は、生活者(市内外の方)にとっての生活の場であり、生活者それぞれが、訪れて楽しいか、住みやすいかなどを決定する基準である。ここで、茅ヶ崎らしい公共空間を作っていかなければ、茅ヶ崎の魅力や価値、ブランド力は今以上に高まらないと考えている。

「茅ヶ崎市景観計画」及び「茅ヶ崎市みどりの基本計画 生物多様性ちがさき戦略」では、「茅ヶ崎らしさ」を再確認する基礎調査のとりまとめを基に、基本計画の理念、目標、具体の施策に反映を行った。これらの計画を基に茅ヶ崎らしい景観及び自然環境を維持できるよう市民、事業者や庁内各課と連携して、事業を進めていきたい。

4 Actionにチェックの入った今年度「事務改善」を行う事業

| No. | 事務事業(事業がない場合は－) | 事務改善の内容 |
|-----|-----------------|---------|
| | － | － |

5 Actionにチェックの入った今年度「休・廃止」を検討する事業

| No. | 事務事業(検討事業がない場合は－) | 休・廃止検討の理由(1事業も検討できない場合はその理由を記載) |
|-----|-------------------|--|
| | － | 第4次実施計画策定時に、1事業を廃止、1事業を休止している。次期総合計画に向けて、さらなる事業の整理が可能か、既存の事業の成果を踏まえながら検討していく期間とする。 |